

アナログれんら君用  
GoogleAppsScript 導入手順書

Rev.	年月日	内容
1	2016 年5月 18日	新規作成 Ver1.0.0
2		
3		

## 1. 概要

アナログれんら君の定時通報メール機能と、Google のクラウドサービスを用いたアプリケーション例です。アナログれんら君が測定したデータを Google のクラウド上に保存し、Web アプリケーションでグラフ化することにより、どの端末からでも測定データをグラフで確認することが可能となります。

## 2. 導入手順

- ① Google アカウントを取得する
- ② Google drive 内に Script ファイルを置く
- ③ Script が Gmail や、Google drive 内のファイルにアクセスする許可を設定する
- ④ アナログれんら君の設定をする
- ⑤ Gmail の設定をする
- ⑥ スクリプトを共有設定にし、導入する

以上の準備・操作が必要となりますので、詳細な説明を確認しながら、操作を行ってください。

### 2. 1. Google アカウントを取得する

<https://accounts.google.com/signup?hl=ja>

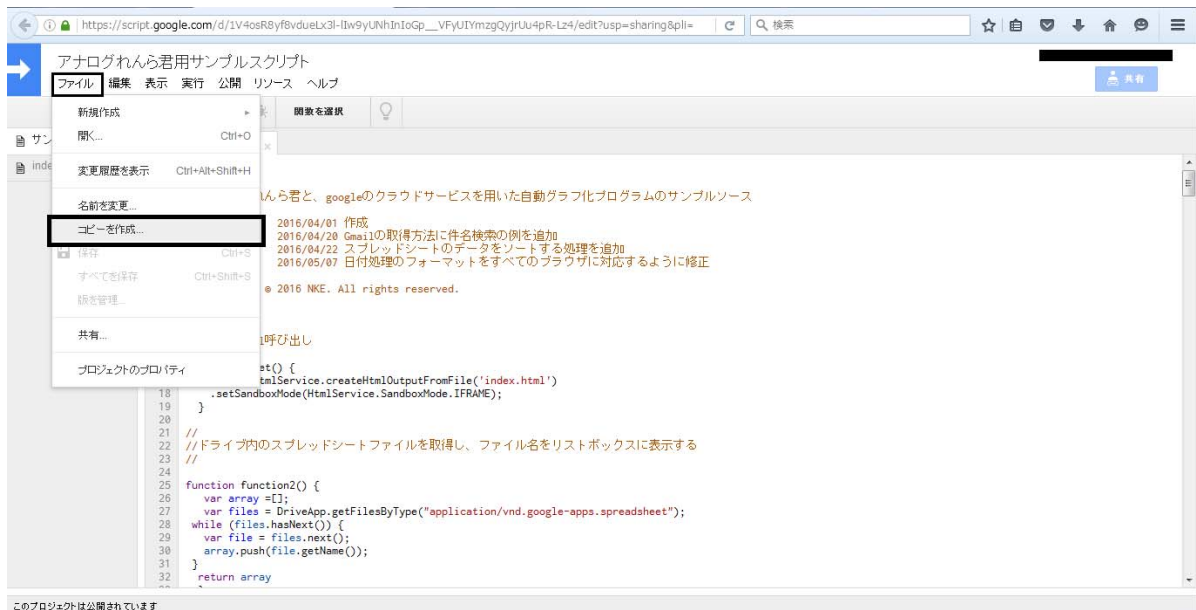
から画面にしたがって登録してください。

### 2. 2. Google drive 内に Script ファイルを置く

取得した Google アカウントでログインした状態で、公開中のサンプルソース URL を開きます。↓↓

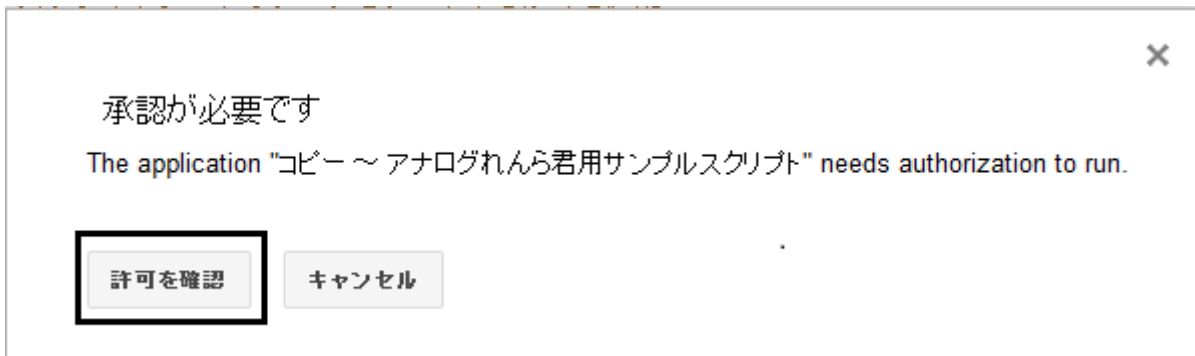
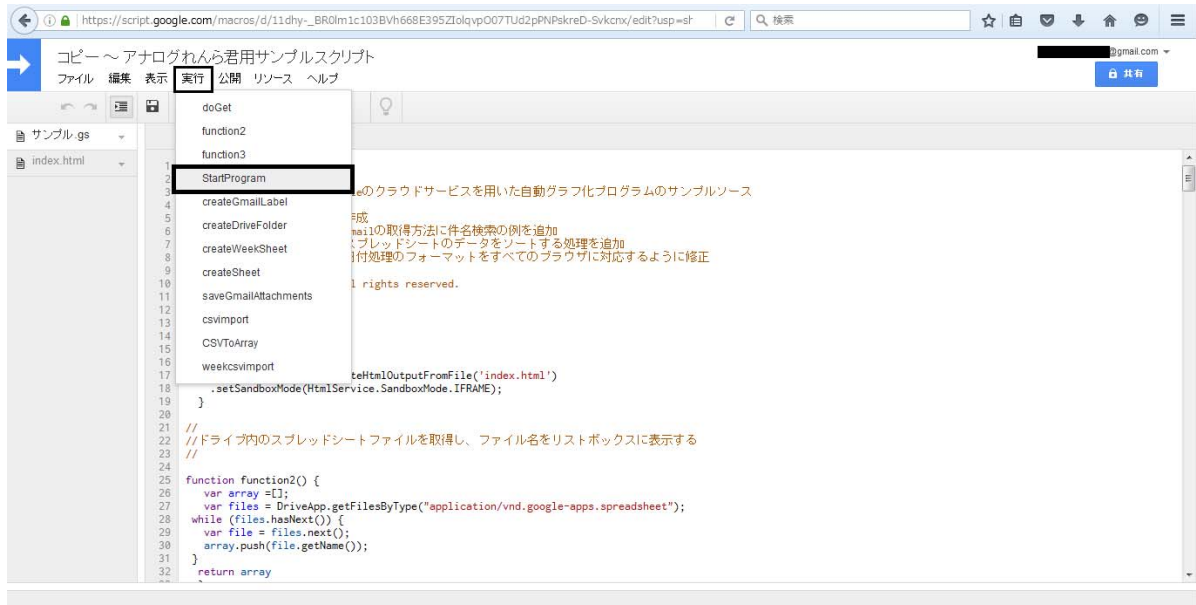
[https://script.google.com/d/1V4osR8yf8vdueLx3l-Iw9yUNhInIoGp\\_VFyUIYmzgQyjrUu4pR-Lz4/edit?usp=sharing](https://script.google.com/d/1V4osR8yf8vdueLx3l-Iw9yUNhInIoGp_VFyUIYmzgQyjrUu4pR-Lz4/edit?usp=sharing)

メニュータグの「ファイル」→「コピーを作成」を選択すれば、Google Drive 内に Script ファイルが作成されます。

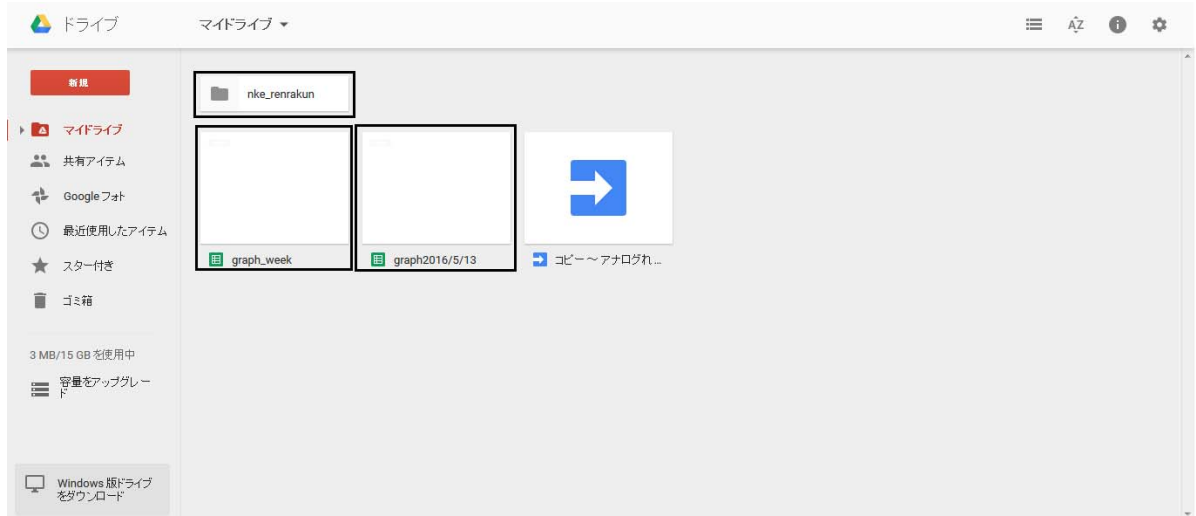


## 2. 3. ScriptがGmailや、Google drive内のファイルにアクセスする許可を設定する

スクリプトの画面を開く→メニュータグの「実行」→「StartProgram」を選択します。  
すると、「承認が必要です。」と画面に表示されますので、画面に従って進み、「許可」を選択します。



「許可を確認」を選択されますと、プログラムが実行され、Drive 内に、「nke\_renrakun」というフォルダと、スプレッドシート2つと、Gmail 内に、「renrakun」というラベルが作成されます。



また、関数を自動実行するための時間トリガーがセットされます。  
メニュータグの「リソース」→「現在のプロジェクトのトリガー」から確認できます。

## 2. 4. アナログれんら君の設定をする

(省略)

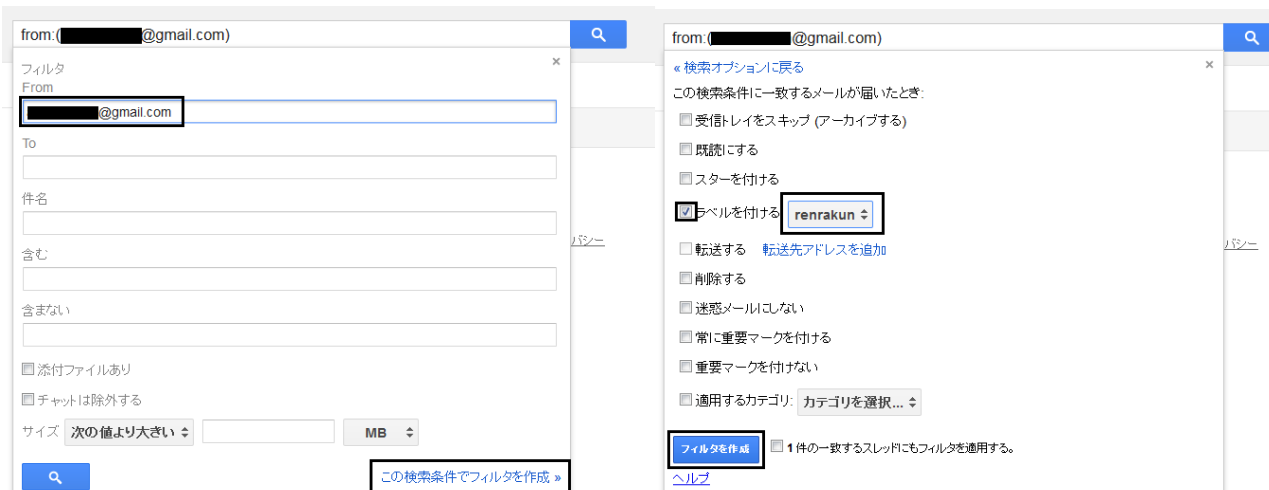
詳しくは、アナログれんら君ソフト取扱説明書を参照してください。ここでは要点だけ書きます。

- ・取得した Gmail アドレス宛に定時通報メールを送るよう設定してください(SMTP 設定も取得した Gmail を使用していただいて問題ありません)。
- ・「UpDate 許可・日時修正」にて、時間を自動取得する設定にしてください。
- ・データ数が膨大になると処理がうまくいかずエラーが起こることがあります。  
(サンプルソースでは、データサンプリング間隔2分、メール送信間隔20分で、問題なく動作することは確認できています。)

## 2. 5. Gmail の設定をする

アナログれんら君の SMTP 設定ができれば、一度れんら君から使用する Gmail 宛にテストメールを送ります。

その後、Gmail 画面にて、届いたメールを選択 → メニューの「その他」を選択 → 「メールの自動振り分け設定」 → 「この検索条件でフィルタを作成」 → ラベルを選択 → 「renrakun」を選択 → 「フィルタを作成」



これで、れんら君のアドレスから届いたメールに自動で「renrakun」ラベルがつくようになります。  
(プログラムでは、「renrakun」ラベルのメールを読むようにしています。)

※上記設定がややこしい場合は、プログラムで、メールの件名を指定して読むようにもできますので、アナログれんら君からのメールの件名をプログラムに記述してください。そうしますと、Gmail 自体の設定は不要になります。

## 2. 6. スクリプトを共有設定にし、導入する

スクリプトの画面にて、メニュータグの「公開」→「Web アプリケーションとして導入」  
→「アプリケーションにアクセスできるユーザー」を全員(匿名も含む)にする→「導入」





これで、「Web アプリケーションの URL」に接続すれば、誰でもこの Web アプリが利用できるようになります。

公開中の Web アプリケーションのサンプル URL です↓↓

<https://script.google.com/macros/s/AKfycbxo4mTGkEmGoycpzoBoL8UXBGIEgLQ69g2CXQ5MMo-zRISR8mI/exec>

以上